

## 都市ガスの付臭剤成分の変更について

令和 3 年 10 月  
若松ガス株式会社

日頃は、若松ガス株式会社(以下「若松ガス」)をご利用いただき、誠にありがとうございます。

若松ガスは、都市ガスの原料である天然ガスに、都市ガス特有の臭いとなる付臭剤を加えて、お客さまにガスをお届けしていますが、このたび付臭剤に含まれる硫黄分を減らし、環境への負荷を軽減する目的で、令和3年10月20日から22日に付臭剤の成分を変更いたします。

都市ガスの原料である天然ガスそのものは、硫黄分を含まないクリーンなエネルギーで、臭いがありません。そのため、微量でもガスが漏れした場合にすぐに発見できるように、保安上の目的から付臭剤を加えておりますが、この付臭剤にわずかながら硫黄分が含まれております。

付臭剤の成分は、(1)人体への毒性がない。(2)一般に存在する臭い(生活臭)と明瞭に区別できる。(3)危険を知らせるためにやや不快な臭いを有し、微量でもガス漏れと分かる。(4)ガスが燃焼した後に臭いが残らない。(5)ガス管などを腐らせない。などの特徴を備えています。

これまでの付臭剤の成分は、「テトラヒドロチオフェン(以下「THT」)」を加えていましたが、今後は、「ターシャリーブチルメルカプタン(以下「TBM<sup>※1</sup>」)」と「シクロヘキセン(以下「CH<sup>※2</sup>」)」を混合した成分に変更します。これにより、都市ガスに含まれている硫黄分を約10分の1に削減でき、環境性をより高めることができます。

なお TBM と CH を混合した新しい付臭剤は、これまでの都市ガス特有の臭い「刺激的な有機溶剤臭(THT)」より「腐ったたまねぎのような臭い(TBM と CH の混合)」となります。

変更作業は工場内で行うため、お客様宅を訪問することはありません。また、現在のご使用のガス器具及びガス漏れ警報器等もこれまでどおりご使用いただけます。

※1 TBM:化学式 C<sub>4</sub>H<sub>10</sub>S・・・有機硫黄化合物の一種で、臭気が強く、燃焼すると二酸化炭素、水、硫黄酸化物となる。

※2 CH:化学式 C<sub>6</sub>H<sub>10</sub>・・・硫黄を含まず、燃焼すると二酸化炭素と水になり、硫黄酸化物が発生しない。

- ・ お問い合わせ先:
- ・ 若松ガス 製造部 玉川工場 TEL. 0242-22-1477